

教養教育科目

講義科目

基本/記述

授業科目名	はじめて学ぶ文化人類学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	玉置 真紀子	GA29	—	2

科目の概要

文化人類学は、人々が作り出した文化の研究を通じて、人間について考える学問である。その対象は全世界であり、世界中の人々と出会い、諸民族の多種多様な生活・文化に触れ、人間について考察する。世界中のいろいろな人々や文化、ものの考え方をすることは、国際化時代を生きる我々にとって極めて大切であり、そうした広い視野から日本や自分自身を見つめ直してみることも、また極めて有益である。本科目は、その文化人類学への知識の習得を目指す。

科目の到達目標

- ①文化人類学の基本概念である文化とは何かを学ぶことで、日常生活において「あたりまえ」と見過ごしていることが、実は様々な文化を通じて成り立っていることを理解できる。
- ②日本社会ひいては世界の様々な社会が独自の文化をもっていることを理解し、他文化と上手に付き合い、多文化社会で生きる力を醸成できる。

テキスト 『目からウロコの文化人類学入門』 斗鬼 正一, ミネルヴァ書房, 2003年

テキストの読み方

- ①文化人類学とはそもそもどのような学問なのか、基本概念を理解すること。
- ②テキストの各章では、なぜ他文化や自文化を学び、調査し、研究するのか、自らの生き方に引き寄せて説明している。遠い国の他者の文化と考えず、自らの問題として捉えること。
- ③各章のテーマを確認し、読み込んでみる。他文化が作り上げた様々な文化から新しい発見につなげて、日本文化が作られていく歴史的過程を簡潔に知ることができる。また、文化変容、文化相対主義、フィールドワークは大事なキーワードである。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。